

2018年8月23日

各 位

SMFL レンタル株式会社

協働ロボット sawyer のレンタル提供開始について

SMFL レンタル株式会社（代表取締役社長：八瀬 浩一郎、以下「SMFL レンタル」）は、様々な作業現場で幅広い活用が可能な新たな協働ロボット（※）のレンタルサービスを開始しました。

対象となるロボットは、米国 Rethink Robotics 社製の協働ロボット sawyer（以下「ソーヤー」）です。ソーヤーは、独自の高感度なフォースセンシング（力覚センサ）機能を兼ね備えた関節を持っており、僅かな力にも反応して繊細に動作します。人がアームを直接動かし作業ポイントを示すだけで作業を学習し、もう一人の作業者として現場を補い、人を手伝う自由度が高い仕様となっています。具体的機能として、繰り返す単調な作業はもとより、ビジョンピッキング（視覚機能を使ったピッキング）、部品の供給や組立、梱包、箱詰めなど複雑な動作が可能です。これまで自動車メーカーや電気メーカーなど比較的規模の大きい企業を中心に導入されてきましたが、今後、食品メーカー、医薬品メーカー、化粧品メーカーへの広がりや大企業から中小企業まで幅広い導入、活用が見込まれます。新たにロボットの導入を検討する企業では、導入効果の予想が難しいこともあり、レンタルへのニーズは高まっていくことが期待されます。

SMFL レンタルは、ソーヤー総輸入元の住友重機械工業株式会社の代理店である住友商事マシネックス株式会社（代表取締役社長：佐橋 明三）とソーヤーのレンタルサービスに関する業務協定を締結し、同社がソーヤーのPR・宣伝を行う過程で、レンタルの希望があった際に同社より顧客紹介を受けます。また、ソーヤーを利用する事業者向けにレンタルサービスを提供していくことで、新たな顧客層の獲得を図ると共に、レンタルの期間を6か月の短期間から60ヶ月の長期間までと幅広く設定するなど事業者のニーズに対応することでソーヤーの導入を促進していきます。

SMFL レンタルでは、これまでもパワーアシストスーツ・搬送用ロボット・協働ロボットのレンタルサービスを業界に先駆けて提供しています。今後もロボットのレンタルサービスを通じて、日本の少子高齢化に伴う労働力人口の減少といった課題の解決に貢献していきます。

（※）協働ロボットとは、従来型の産業用ロボットと違い、人とロボットが安全柵なしに同じ領域で協働作業ができるロボットです。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

SMFLレンタル株式会社 新規開発事業部 開発部 久利 : 03-5226-5039